

特活) 歯科医学教育国際支援機構。ニュースレター 2021年 2月号

コロナ禍後の特活) 歯科医学教育国際支援機構のあり方について。OISDE 理事長 宮田 隆

2020 年はどなた様にとってもコロナ禍による最悪の一年であったこととお察し申し上げます。人類の歴史は災厄との戦いで、それでも何とか生き伸びてきました。疫病は 1000 年も続いた暗黒時代に陥れるきっかけを作ったペストでさえ、ヨーロッパに限定された感染症でした。コレラにしても、マラリアにしてもある環境下で起きる「予測可能」な疫病です。今回のコロナのように、人類史上、全世界で感染し、多くの人々が犠牲になった疫病は恐らく百年前のスペイン風邪以来で、大変な危機に襲われています。もちろん、OISDE の活動も大きな影響を受け、特に日本人専門家のラオス派遣は完全にストップし、リモートでの講義や本邦からの財政的支援などに限定される状態が続いています。ワクチン接種の普及はコロナ収束の切り札と大いに期待され、スペイン風邪の経験からも 1 年から 2 年で流行はピークを迎える可能性が高い事から、ワクチンとの相互効果からも今年中には活動を再開できると期待しています。一方で、現在のプロジェクトは来年 2 月に終了する事から満足のゆく活動をする事は時間的に難しく、財政的な支援が中心となると思います。皆様には、今後とも金属回収などを介したご支援を是非とも宜しくお願い致します。

OISDE 理事の鴨井先生が医学系の雑誌である Medical QOL に医家向けに「口腔ケアからみた歯周病と COVID-19 の対策」が掲載されました。



マスクシールドの上手な使い方

シールドはウィルスが脇からウィルスが入り込むため感染防御という点では今一つ評判が良くありませんが、不織布マスクの上から覆う事でこの欠点が補えます。いわゆるフェースシールドは臨床的に扱いづらいため、この方法がお勧めです。エビデンス的にも近畿大学の東賢一氏らの研究チームがそれを明らかにしました(Medical Tribune1/14号)。結果はサージカルマスクを着用した場合は 63~64%、フェースシールドを着用した場合は 97~98%、両方を着用した場合は 99.9%以上いずれも低減できるそうです。



特活) 歯科医学教育国際支援機構

TEL/FAX 03-3386-6605 東京都中野区沼袋 1-44-2 Mail: oisdetokyo@gmail.com

HP: oisde.com